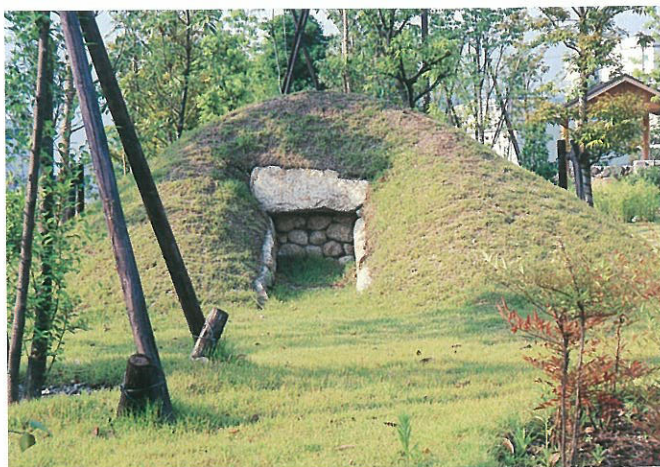




地域に多く存在している古墳を再現



飛鳥時代の建築様式による山門



園路を巡りながら万葉植物を眺めることができる

DATA・BOARD 18

- ①大阪府羽曳野市駒ヶ谷
- ②面積：7,860㎡，遊歩道延長：430m，幅員15～18m
- ③近鉄南大阪線駒ヶ谷駅から徒歩約3分，西名阪自動車道藤井寺ICから車で約25分
- ④大谷古墳公園，石川河川公園，大黒寺，杜本神社ほか
- ⑤各種のウォーキング大会



18 であいのみち



羽曳野市では、飛鳥川の流域で建設省のふ
るさとの川モデル事業による環境整備事業が
進められている。「であいのみち」はこの事
業の中で、歴史・文化・自然・時・人の逢い
合うゾーンとして位置付けられ、整備が行わ
れたものである。

施設内は、こうしたテーマに沿って、市内
に国内でも最大級の応神陵古墳をはじめとす
る古墳群が存在することから古墳時代ゾーン
を、地名の由来である駒ヶ谷が聖徳太子と縁
の深いことから飛鳥時代ゾーンを設定するこ
とにより、歴史・文化・時との出会いを表現
している。また、飛鳥川の流れや田園風景を
取り入れたり、万葉植物を植栽することによ
り、自然と人の出会いを表現している。

古墳時代ゾーンは、石を基調にした整備を
行っており、石材を利用した舗装をはじめ、
石室を再現した円墳や白鳥陵古墳のミニチュ
ャ、石の広場などを設置している。飛鳥時
代ゾーンは木を基調としており、木材を利用
した舗装、飛鳥時代の建築様式により再現し
た山門を設置したほか、万葉植物の植栽に万
葉集の和歌を添えて紹介したり、子供たちの
遊具などが設けられている。

整備後は、施設を訪れた人々が地域の歴史
背景を感じながら、憩いのひとときや散策を
楽しむとともに、ウォーキングラリーなどの
会場としても活用されている。